

## 早稲田大学 文学部 英語 講評

### 〔総合分析〕

出題形式	マーク・記述併用
試験時間	90分
特徴・その他	出題形式が法学部と同じ様に問題文が英文となった。長文も細分化され、速やかな対応が必要とされる。とにかく時間との戦いに勝てないと、タイムアップで得点も厳しくなるろう。

### 〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
I	空所補充	比較的オーソドックスなレベルだが、しっかりした語彙力を必要とする。失点はなるだけ避けたい。	やや易
II	内容一致選択	選択肢も分かりやすく落とし穴も少ないので正解は選びやすいが、三つの文章を素早く読み取れないと時間内に終わらせることが難しくなるろう。	やや難
III	文補充	文脈の理解とキーワードの速やかな発見で意外と簡単に正解を選ぶことができるであろう。	やや難
IV	空所補充	会話文の語句補充問題で、会話の流れで簡単に正解を選べるはずである。全問題中最も易しい。	易
V	読解要約英作文	本文は非常に平易で分かりやすい。一文で自分の言葉に書き換え、できるだけ4行にわたるように作文することがポイントとなる。	やや易